

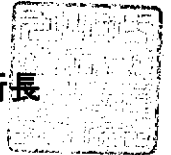


事 務 連 絡

平成22年10月15日

(社)長崎県建設業協会 会長 様

国 土 交 通 省
長崎河川国道事務所 長



「本明川 川づくり技術講習会」の開催について

平成9年には河川法が改正され、河川環境の整備と保全が河川法の目的として明確になるとともに、河川砂防技術基準(案)において「河道は多自然型川づくりを基本として計画する」ことが位置づけられ、現在では多自然型川づくりはすべての川づくりにおいて実施されるようになってきました。

しかし、こうした事例のなかには、様々な工夫を重ねながら治水機能と環境機能を両立させた取り組みがある一方で、場所ごとの自然環境の特性への考慮を欠いた改修や他の施工区間の工法をまねただけの画一的で安易な川づくりが見られることが指摘されているのも、事実です。このような背景から、今一度川づくりを考えるべく、多自然川づくりの国内第一人者である福留先生を招いて勉強会を開催することとしました。

なお、フィールドとして本明川を選定していますが、他河川の川づくりでも必要とされる技術ですので、多くの技術者の皆さんの参加をお願いします。

記

日 時： 平成22年10月22日(金) 10:00～12:00(予定)(小雨決行)

場 所： 諫早市仲沖町(本明川河川敷)

講 師： 福 留 脩 文 氏

内 容： 川の見方や川づくり工法の考え方、石積(張)、置石・カ石の技術について、
現地実習を実施

その他： 今回の講習会は、(社)全国土木施工管理技士連合会の学習プログラム
として登録されています。

(CPDSの対象時間は、10時～12時の2ユニットを予定)

注 意： ①資料の準備の関係から参加人数を、10月20日(水)17時までに
事 項 報告下さい。

(FAX可 長崎河川国道事務所 建設専門官 光武まで)

②会場の都合から、受講者を制限する場合があります。予めご了承下さい。

③当日は、ヘルメットと出来れば胴長持参で参加下さい。

問い合わせ： 長崎河川国道事務所 建設専門官 光武

TEL：095-839-9211 FAX：095-839-9353

「本明川川づくり技術講習会」 ～川づくりかた、考え方～

○開催日時：平成 22 年 10 月 22 日(金) 10:00 ～ 12:00 (予定)

○会 場：諫早市仲沖町（本明川河川敷）

○講 師：福留 脩文 先生

○内 容：

石材を使った流水の誘導方法の实地指導

①川の見方

②石積(張)、置石・カ石の技術について(デザイン、積み方、禁手など)

③水制工による深み、淀み、水のコントロールの作り方

(現場で実技指導の中で、設計・施工上の配慮事項を説明)

福留脩文氏のプロフィール

1943年 高知県に生まれる。1967年 東海大学工学部土木工学科卒業、建設会社に就職。1974年 (株)西日本科学技術研究所を設立、代表取締役役に就任。土木設計、自然環境調査を広く手がけ、今日に至る。・高知大学非常勤講師、九州地方整備局「うるおいのある川づくりレビュー委員会」委員、高知県文化環境アドバイザー、日本ビオトープ協会顧問など公職 多数。

日本の風土に合った地域開発のあり方を模索し、近自然河川工法を最初に提唱し、日本の第一人者としてその意義や方法を紹介し、自ら川に入って工法を実践する技術者でもある。その全国の河川で実践活動を進めている。ニ科尔氏の住む長野県鳥居川など手がけた河川は全国に広がる。

10月20日（火）17時必着

宛 先

長崎河川国道事務所 調査第一課 光武 まで

FAX 095-839-9859

電話 095-839-9353

会社名：_____

連絡先：_____

窓 口：_____

参 加 者 氏 名	連 絡 先 （携帯電話等）

※個人情報、今回の講習会以外には利用しません。